

2023 年度 長岡大学シラバス

| | | | | | | | | | |
|----------------|---|-------------|----|-----|---|------|---------------------|-----|----|
| 授業科目名 科目コード | ゼミナールⅣ (SeminarⅣ) 2025-0-41-061 | | | | | 担当教員 | 権 五景 (グォン オーギョン) | | |
| 科目区分 | ゼミナール科目 | 必修・ 選択区分 | 必修 | 単位数 | 2 | 配当年次 | 4年次 | 開講期 | 通年 |
| 科目特性 | 学生参加型 AL / 協同学修型 AL / 課題解決型 AL / 外部講師招聘科目 | | | | | | | | |

| |
|--|
| ① 授業のねらい・概要 |
| 地域資源の活用こそ、地域経済の発展につながるという考え方の下で地域活性化のために活動している。活性化の対象としているのは「十分杯」のような地域資源であり、具体的な内容はそれらを動画におさめ、編集し、SNS で公開することである。十分杯のブームを起こすことを目標とし、その火付け役になれるよう情報生産に力を入れていく。 |
| ② ディプロマ・ポリシーとの関連 |
| ①地域社会に貢献する姿勢 / ②職業人として通用する能力 / ③専門的知識・技能を活用する能力 ④コミュニケーション能力 / ⑤情報収集・分析力 |
| ③ 授業の進め方・指示事項 |
| 活動の理由を各自が自覚するためと目標に到達するためのディスカッションと、学外での活動を中心に進める。 |
| ④ 関連科目・履修しておくべき科目 |
| なし |
| ⑤ テキスト (教科書) |
| なし |
| ⑥ 参考図書・指定図書 |
| なし |
| ⑦ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安 |
| (i) 中越地域の地域資源について他人に説明できるようになる。 (ii) 動画制作ができるようになる。 (iii) 世界中の地域資源の活用事例を発掘して、他人に紹介することができる。 |

| ⑧ ルーブリック | | | | | |
|-------------------|--|--|---|--|---------------------------|
| 評価項目 | 評価基準 | | | | |
| | S | A | B | C | D |
| | 到達目標を越えたレベルを達成している | 到達目標を達成している | 到達目標達成にはやや努力を要する | 到達目標達成には努力を要する | 到達目標達成には相当の努力を要する |
| (i) 中越地域の地域資源の説明 | 中越地域の地域資源について明確に説明できる | 中越地域の地域資源について概要を正確に説明できる | 中越地域の地域資源について概要を説明できる | 中越地域の地域資源について資料を見ながら説明できる | 中越地域の地域資源について資料を見ても説明できない |
| (ii) 動画制作 | 撮影、編集、アップロード、インターネット上での説明文の作成までが出来る(1か月に2本以上)。 | 撮影、編集、アップロード、インターネット上での説明文の作成までが出来るが、時間がかかる(2か月に1本)。 | 撮影、編集、アップロード、インターネット上での説明文の作成までが出来る、時間がかかる(3か月に1本)。 | 撮影、編集、アップロード、インターネット上での説明文の作成までが出来る時間がかかる(4か月に1本)。 | 動画の編集ができない |
| (iii) 地域資源の活用事例発掘 | 地域資源の活用事例を4つ発掘する | 地域資源の活用事例を3つ発掘する | 地域資源の活用事例を2つ発掘する | 地域資源の活用事例を1つ発掘する | 地域資源の活用事例が発掘できない |

| ⑨ 学習の到達目標(評価項目)とその評価の方法、フィードバックの方法 | | | | | | | | |
|------------------------------------|---------------------|------|-----|--------------|---------------|-----------|-----|------|
| 学習到達目標(評価項目) | 試験 | 小テスト | 課題 | レポート | 発表・実技 | 授業への参加・意欲 | その他 | 合計 |
| 総合評価割合 | | | 15% | 30% (報告書) | 40% (ゼミ活動) | 15% | | 100% |
| (i) 中越地域の地域資源の説明 | | | 5% | 10% | 15% | 5% | | 35% |
| (ii) 動画制作 | | | 5% | 15% | 20% | 5% | | 45% |
| (iii) 地域資源の活用事例発掘 | | | 5% | 5% | 5% | 5% | | 20% |
| フィードバックの方法 | 毎回冒頭に前回の活動について議論する。 | | | | | | | |

| ⑩ 担当教員からのメッセージ(昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等) |
|--------------------------------------|
| 時間的余裕を持って活動できるように努めたい。 |

| ⑪ 授業計画と学習課題 | | | |
|-------------|-----------------------|---------------------------------|------|
| 回数 | 授業の内容 | 授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物） | |
| 1 | 地域活性化論の考察 | 議論を図にする。 | 120分 |
| 2 | これまでの活動説明 | 十分杯の魅力、動画づくりの魅力について、各自の考えをまとめる。 | 120分 |
| 3 | 動画制作ソフトの学習 | 書籍とインターネットを活用し、動画制作ソフトの基礎を学習する。 | 120分 |
| 4 | 地域資源の事例探し（これまでの事例紹介） | 1つの事例を見つけ、写真と文章をA4サイズで1枚に整理する。 | 120分 |
| 5 | 中越地域の地域資源探し（データー確認） | 様々なデーターをもって地域資源探しを行う。 | 120分 |
| 6 | 中越地域の地域資源探し（産業別） | 産業別視点から地域資源探しを行う。 | 120分 |
| 7 | 中越地域の地域資源探し（地域別） | 地域別視点から地域資源探しを行う。 | 120分 |
| 8 | 中越地域の地域資源探し（イベント別） | イベント別視点から地域資源探しを行う。 | 120分 |
| 9 | 中越地域の地域資源探し（世代別） | 世代別視点から地域資源探しを行う。 | 120分 |
| 10 | 中越地域の地域資源探し（視聴者の住居地別） | 視聴者の住居地別視点から地域資源探しを行う。 | 120分 |
| 11 | 中越地域の地域資源探し（SNSの特性調べ） | 著作権を含め、SNS（主に動画サイト）の特性を調べる。 | 120分 |
| 12 | 動画制作の企画 | 取材の準備を行う。 | 120分 |
| 13 | 取材 | 取材を行う。 | 120分 |
| 14 | 動画編集① | 動画編集を行う。 | 120分 |
| 15 | 動画編集② | 動画編集を行う。 | 120分 |
| 16 | 動画制作の企画 | 取材の準備を行う。 | 120分 |
| 17 | 取材 | 取材を行う。 | 120分 |
| 18 | 動画編集① | 動画編集を行う。 | 120分 |

| | | | |
|----|-------------|--------------------|------|
| 19 | 動画編集② | 動画編集を行う。 | 120分 |
| 20 | 中間レビュー | 中間レビューを行う。 | 120分 |
| 21 | 動画制作の企画 | 取材の準備を行う。 | 120分 |
| 22 | 取材 | 取材を行う。 | 120分 |
| 23 | 動画編集① | 動画編集を行う。 | 120分 |
| 24 | 動画編集② | 動画編集を行う。 | 120分 |
| 25 | 成果発表会準備 | 原稿を修正し、練習する。 | 120分 |
| 26 | 成果発表会準備 | 原稿を修正し、練習する。 | 120分 |
| 27 | 報告書作成 | 原稿を修正する。 | 120分 |
| 28 | 報告書作成 | 原稿を修正する。 | 120分 |
| 29 | 報告書作成 | 原稿を修正する。 | 120分 |
| 30 | 1年の活動を振替える。 | 後輩へ伝えたいものを記録として残す。 | 120分 |

| |
|--|
| ⑫ アクティブラーニングについて |
| 全回、学生参加型 AL、課題解決型 AL、協同学修型 AL で行う。課題を履修生自らが発見し、協同で文献研究及び地域への提案事項を検討していく。悠久祭や地域活性化プログラム成果発表会等でプレゼンテーションを行い、活動内容をまとめて報告書を作成する。 |

※以下は該当者のみ記載する。

| |
|--------------------|
| ⑬ 実務経験のある教員による授業科目 |
| 実務経験の概要 |
| |
| 実務経験と授業科目との関連性 |
| |